

2019年度事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日特定非営利活動に係る事業

1 事業の方針

障がいのある人とその家族の地域生活に係るニーズに応えるとともに、特別支援教育担当者の支援に努め、徐々に増え始めた新型コロナウイルス感染症の影響で、年度末になっての学校の臨時休校、イベント自粛、公的施設の閉鎖などの影響で支援予定の変更を余儀なくされ、事業計画を変更せざるを得ない事態となりました。

2 事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 障がいのある人とその家族への人権・教育・生活等に関する相談事業

人権・教育・生活等に関する相談事業（自主事業）

- ・ 内容：人権擁護、就学、進学、就労、障害者手帳の取得、生活などに関する相談を受け、他の関係諸機関と連携しながら、問題解決に向かえるよう援助してきました。
- ・ 日時：通年 週1回（火曜日を予定）必要に応じて随時対応。
- ・ 場所：サポートハウス「わにの家」（川崎市中原区今井南町32番11号）
- ・ 従事者人員：2人
- ・ 受益対象者：障がいのある人とその家族、教員等。
- ・ **支出額： 0円**

(2) 障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援する法律（以下 障害者総合支援法と記述）に基づく指定行動援護事業（市指定事業 2018年度後期より新規事業）

- ・ 内容 強度行動障害のある人たちの外出支援並びに移動等に必要な情報の提供。
- ・ 日時 利用者の要望に応じて計画的に実施
- ・ 場所 原則として川崎市内。必要に応じて市外近域。
- ・ 従事者人員 18人（行動援護従業者養成研修の修了者）
- ・ 対象者 行動援護が支給決定されている人
- ・ **支出額：3,799,918円**

(3) 障害者総合支援法に基づく指定生活介護事業 りあん（市指定事業）

- ・ 内容 高等学校卒業後の社会での日中活動の場として、生活介護事業所を開設しています。
立地条件を活かして「カフェ」の運営、農作業、自主製品作成を中心に活動し利用者に寄り添った支援を目指してきました。
- ・ 日時：月～金曜日 9:30～16:00
年間実施日数 236日 年間延利用者数 1735人
- ・ 場所：わに麻生（麻生区栗木2丁目2番1号）
- ・ 従業者：10～12人（うち、看護師1名）
- ・ 対象者：高等部卒業後、生活介護サービスを必要としている人
- ・ **支出額：24,681,672円**

(4) 地域での生活、自立活動、地域活動等の支援に関する事業

① 日中一時支援事業（川崎市指定事業）障害児者一時預かり

ア) サポートハウスわにの家（幼児・小学生）

- ・ 内容：利用児の状況、希望に応じて生活・遊び・学習などの活動に寄り添い、一人ひとりに即した発達の支援に努めてきました。
- ・ 日時：**幼児** 原則として毎週月・火・水・金曜日、第1・3土曜日 10:00～12:30

実施日：年間113日 *お弁当の日は13：30まで。

小学生 原則として毎週月～金曜日 放課後～17：00 火曜日 ～18：00

実施日：年間231日

休日活動月2回 日・祝日 学校の長期休暇 10：00～16：00

実施日：年間42日

- ・場所：第2サポートハウス（今井南町32番12号コーポ井上1F）および周辺公園など
- ・従事者人員：17人（預かる児童数に応じて1対1または1対2）＋事務専任1人
- ・対象者：3歳～小学6年生（特別な配慮、発達支援が必要な児童で医療ケアを必要としない人。病弱児・肢体不自由児を含む）、療育手帳、地域生活支援受給者証の保持者。
*小学生の活動に支障の無い範囲で、中学生以上にも対応。
- ・定員：1回の預かり数 幼児：6人 小学生：9人（休日は6人）
- ・支出額：22,158,708円

イ) サポートハウスわにの家（成人）

- ・内容：創作的活動（羊毛糸紡ぎ、織物）、調理、清掃などの仕事を通して自立的な生活をする力、人と関わりながら働く力を高め、意欲的に活動できるように支援しました。しかし、利用者体調不良と2月末からのコロナウイルス感染予防の休みにより、活動日数は予定よりかなり少なくなりました。
- ・日時：通年 原則として週3日（月・水・金） 年間活動実施日124日
- ・場所：サポートハウス「わにの家」（第1ハウス1階） 当面の利用者：2人
- ・従事者：各回1～2人
- ・対象者：社会参加を望みながら他に適した日中活動の場がなく、支援を要する成人。
- ・支出額：ア)の幼児・小学生の事業に含む

ウ) ぶらりば（麻生 日中一時支援事業）

○ You-Youクラブ（障がい児者音楽コミュニケーション）

- ・内容：音楽、遊び、文化的創作活動を通してコミュニケーションの楽しさを体験し、社会性を身につけ、地域で楽しく当たり前に生活できることを目標に活動してきました。
- ・日時：月・水曜日 15:30～17:30 金曜日 16:00～18:00 長期休暇・下校の早い日は別時間を設定。
年間実施日数 141日 年間延べ利用者数 2,472人
- ・場所：片平地域訓練室（麻生区片平5丁目25番1号）
- ・従事者：各回7～8人
- ・対象者：活動の趣旨に賛同する人 主に小学生以上で、登録したメンバー 定員：20人
- ・支出額：27,696,714円

○ 自由工房

- ・内容：青年・成人の休日余暇活動の場。利用者の心身の状況や希望にあわせ、季節に即した活動を実施。参加の機会を平等にするため開催時間を統一しました。

年間実施日数 19日 年間延べ利用者数 325人

- ・日時：第1・第3日曜日 13：00～16：00
- ・場所：主に片平地域訓練室 ・従事者：6～8人
- ・対象者：学校卒業後、作業所等に通所している青年・成人
- ・支出額：前記ア)のYou-Youクラブに含む

○ P-Place

- ・内容：18歳以上の青年・成人を対象とした、日中活動が終わった後の夕方支援及び一部日中支援。参加者それぞれが個性に合わせ楽しく充実した時間を過ごせるように支援。

- ・日時：月～金 16:00～18:00 木 10:00～14:30
年間実施日数 239日 年間延べ利用者数 1,959人
- ・従事者：利用者数に応じ4～6人 ・場所：わに麻生（麻生区栗木2丁目2番1号）
- ・対象者：日中活動後の時間帯に家族が介護できないため、安心できる居場所を必要としている人。
- ・**支出額**：前記ア)のYou-Youクラブに含む

○ P-Place2（2018年度～）

- ・内容：タイムケアモデル事業（2017年度で廃止）に代わる中・高生のための放課後・長期休暇中の支援を行ってきました。
- ・日時：火・木曜日 放課後～18:00 長期休暇・下校の早い日は別時間を設定。
年間実施予定日数 99日 年間延べ利用予定数 680人
- ・従事者：利用者数に応じ4～6人 ・場所：わに麻生（麻生区栗木2丁目2番1号）
- ・対象者：放課後に家族が介護できないため、安心できる居場所を必要としている人。
- ・**支出額**：前記ア)のYou-Youクラブに含む

② 地域生活支援事業（川崎市指定事業） 移動支援・あんしんサポート

- ・内容：公的機関の利用や社会参加のための外出、通学・通所などの付添、および家庭や自宅周辺での見守りなど、地域での安全で充実した生活を支援するためサポーターを派遣してきました。しかし、3月は新型コロナウイルスの影響で、移動支援・通学通所支援の利用が大幅に減少。
- ・日時：年間随時 利用者の希望に応じて（原則として8:00～20:00）
 利用者の受給者証およびサービス利用計画書に位置づけられた内容・時間帯の支援。
- ・場所：川崎市全域
- ・従事者：ヘルパー資格保持者またはサポーター養成研修講座修了者で、法人が適切と認め、登録者証を発行した者 原則として1対1で対応。1対4まで可。
 その他 コーディネーター1名、事務担当者6人+登録サポーター約150人
- ・対象者：原則として小学生以上の川崎市在住者。
 身体障害者手帳、療育手帳等保持者および療育機関等で必要を認められた人
- ・**支出額：31,911,651円**

③ ふれあいガイド（企画型）＝那須ツアー ほか

- ・内容：野外活動ホーム那須わになろうの家等を活用して、豊かな自然の中で仲間と協力しあい自立的な生活を体験することを目的に、年間2回のツアーを実施しました。2回目は福祉バスを利用したツアーを近い場所で実施したいとの要望に応え、上郷森の家にて1泊2日のツアーを実施しました。企画・運営に利用者の皆さんが主体的に参加できるように配慮し、第2回は事前に当事者参加の企画会議をしました。森の家は台風の直後だったので計画通りの活動ができなかったけれど、ボランティアの参加も多く楽しく過ごせたと、参加者の皆さんには好評でした。
- ・日時 第1回 7月13日（土）～15日（月）2泊3日 参加21名（内ボラスタッフ9名）
 第2回 9月15日（日）～16日（月）1泊2日 参加32名（内ボラスタッフ13名）
- ・場所：第1回 那須わになろうの家（栃木県那須郡那須町豊原丙高津道東3080-5）
 第2回 上郷 森の家（横浜市栄区上郷町1499-1）はじめての場所での活動
- ・従事者：当日の支援者延べ21人 企画型申請、事前準備・下見等4人
- ・対象者：小学生以上の障がいのある人及び家族。
- ・**支出額：767,010円**

④ フリーサポート事業（自主事業）

- ・内容：家族が諸事情で介護できない、公的制度の利用が困難という人たちへの支援。
 ショートステイの送迎、通院、療育センター等への通所などの支援をしました。

- ・日時：原則として8:00～17:00 必要に応じて相談
- ・場所：利用者の希望される場所
- ・従事者：利用者数に応じて1対1
- ・対象者：支援を必要としている3歳以上の人
- ・**支出額：主に車送迎のため、福祉有償運送事業に組込**

⑤ ファミリーサポート事業（川崎市指定事業）

- ・内容：この事業は、療育センターと連携し、障がい児の子育てに困難を抱える家庭を支援するものですが、2019年度は希望される家庭がなく、新規の利用はありませんでした。ファミリーサポートを終了されたご家族への支援として、フリー契約で月に1回程度の訪問支援を継続しました。
- ・従事者：この事業の従事者として研修を受けた者 1回に一人派遣
- ・対象者：地域療育センターより必要を認められた子どもとその家族。開始時小学校1年の9月まで。1件週1～3回派遣、約3ヶ月に1回モニタリング実施。
- ・**支出額：経費は地域生活支援事業で一括管理**

⑥ 子ども（就学前）の発達支援事業

- ・内容 保護者セミナー
 - *2017年度より中原区保健福祉センター主催の事業に変更となり、協力し、人材派遣をしました。
- ・日時：原則として毎月第2月曜日 10:00～12:00
 - 年間実施回数 9回 年間延べ利用者数 未集計**
- ・場所：中原区役所保健福祉センター
- ・従事者：各回3人
- ・対象者：保育園・幼稚園に通園している子どもの保護者で子育てに不安のある人
- ・**支出額：0円** *費用はわになろう会を経由しない。

⑦ 地域活動支援センター事業 D型 Seeds（川崎市補助事業 2014年～）

- ・内容：立地条件を活かし、ランチタイムの弁当製造・販売、アート性の高い作品の制作、農作業など、地域の人々と交流しながら働き、さらに余暇活動にもとりくみました。
- ・日時：月～金曜日 9:30～16:00
 - 年間実施日数 237日 年間延べ利用者数 1126人**
- ・場所：地域活動支援センター Seeds（麻生区栗木2丁目2番1号）
- ・従事者：4～8人
- ・対象者：高等部卒業後、当センターの基本コンセプトに賛同し、仕事に意欲を持った青年
- ・**支出額：24,317,071円**

⑧ 野外活動ホーム那須わになろうの家運営事業

- ・内容：1995年に開設した施設を、その趣旨に則り維持管理・運営し、家族やグループなどに自立生活、余暇活動の場として提供を続けて来ました。ゴールデンウィーク中予約をされていた方達のキャンセル、那須ツアーの回数縮小などの影響で収入減となり、運営が厳しくなりました。
 - 清掃・管理のためのツアーを年間2回（12月・3月）実施しました。
- ・日時：通年 随時 ・場所：栃木県那須郡那須町豊原丙高津道東3080-5
- ・従事者：常駐管理人なし 清掃等自主管理 利用コーディネーター1人
- ・対象者：会員の家族、グループ、その支援者など 自主管理できる人
- ・**支出額：529,350円**

(5) 学習、研修、啓発、広報に関する事業（②以下、自主事業）

① **移動支援事業等従事者養成研修事業**（川崎市補助事業 2018年度～）

- ・内容：川崎市と契約した仕様書に基づき、移動支援事業等従事者・行動援護従業者・ファミリーサポート従事者養成のための研修を下記のとおり実施しました。
- ・回数・日程：**移動支援事業等従事者養成研修 年2回 7月13日、1月25日に実施**
ファミリーサポート従事者研修 年1回 12月21日に実施
行動援護従業者養成研修 年1回 9月22・23・29日に実施
- ・場所：市内借り会場 大山街道ふるさと館、生涯学習プラザ
- ・従事者：コーディネーター 1人 コーディネーター補助 3人 事務局 1人
その他 研修会毎に外部講師を招聘
- ・対象者：一般市民、福祉事業所職員等（研修の内容により資格限定）
- ・**支出額：1,355,797円**

② **映画と講演のつどい**（川崎市教職員組合障害児教育部と共催）

- ・内容：障がいへの理解を深めるため、話題のドキュメンタリー映画『道草』を上映し、映画に出演されている尾野剛志さんを招いて講演を実施しましたが、例年より参加者も多く好評でした。
- ・日時：**年1回 2月11日** ・場所：川崎市立中央支援学校 多目的室
- ・従事者：10人
- ・対象者：会員、障がい児者および家族、教員、一般市民 **参加者61名**
- ・**支出額：0円** DVD借料、講師謝礼等の出費は川教組障教部で負担

③ **進路に関する学習会**（川崎市教職員組合障害児教育部と共催）

- ・内容：特別支援学校、高等学校などの現状について、教育現場の先生等からの報告を聞き、後期中等教育・進路保障のあり方を参加者とともに考えあいました。昨年度と比較すると参加者は減りましたが、公立高校で始まるインクルーシブ教育について多くの質問が寄せられました。
- ・日時：第1回 10月25日（金）18:00～20:50 市立中央支援学校多目的室 **参加者21名**
特別支援学校（養護学校）の過大化問題を考える
特別支援学校6校の現状についての報告と教委からの説明 意見交換
第2回 12月7日（土）13:30～16:30 生涯学習プラザ301会議室 **参加42名**
高校問題懇談会 川崎市の中学卒業生の進路説明 多様な進路の紹介などの情報提供
県教委より、新しく川崎市内の高校でも始まるインクルーシブ教育についての説明
- ・従事者：8人 ・対象者：後期中等教育に関心のある当事者、家族、教員
- ・**支出額：0円** 会場費・講師謝礼については川教組障教部で負担

④ **講師派遣**

- ・内容：学校や地域社会の障がい者理解を深めるため、子育て・教育・福祉のあり方等に関する学習会、研修会に法人より講師を派遣し、支援のとりくみなどを紹介しました。
- ・日時：**年間実施 3回** ・場所：要請を受けたところ（ミュージア川崎 ほか）
- ・従事者：各回1人 ・対象者：当事者、家族、学生、支援者、教員、ほか一般市民
- ・**支出額：565円**

⑤ **特別支援教育担当者学習会**

- ・内容：特別支援教育担当教員の学習、実践の交流をおこない、よりよい教育実践への意欲を高めあう目的で、月1回（年間9回）の学習会を実施しました。
- ・日時：毎月第2水曜 19:00～20:30（4・8・3月を除く）

- ・場所：サポートハウス「わにの家」 **年間 9回実施** ・従事者：各回2～3人
- ・対象者：特別支援教育担当教員、ほかボランティア活動参加者など
- ・**支出額：0円**

⑥ 会報発行

- ・内容：法人の活動紹介・報告、教育・福祉等に関する情報提供や学校を初めとする地域社会の障がい児者に関する理解を図るために月1回の発行を続けました。しかし、新型コロナウイルス感染予防のため学校が臨時休校になったため、2020年3月は休刊しました。
- ・日時：**毎月1回 約6600部印刷 NO.403号～413号**
- ・従事者：各回8人
- ・対象者：会員の他、市内特別支援学校・学級の保護者、教員、関係団体など
- ・**支出額：364,488円**

⑦ 福祉健康まつり・中身館フェスティバルへの参加

- ・内容：法人の活動の紹介・宣伝をし、地域の障がい者理解を拡げる目的で地域のイベントに例年通り積極的に参加しました。
- ・日時および場所：6月 1日（土）9:00～14:00 中身館フェスティバル（中身館）
11月17日（土）8:00～15:00 なかはら福祉健康まつり（中原区役所）
- ・従事者：会員有志（中身館F3人、福健まつり6人） ・対象者：一般市民
- ・**費用見込み額：0円**

(6) 道路運送法第78条第2号による福祉有償運送事業（改正道路運送法に基づく登録事業）

- ・内容：徒歩や公共交通機関での移動が困難な人を対象に、登録車両を使い登録した運転者が送迎し必要とされる外出を支援してきました。
- ・日時：利用者の希望日 原則として8:00～20:00
- ・登録事務所：「サポートハウスわにの家」および「わになろう会・麻生」
- ・対象者：行動援護や移動支援など、当法人の利用者で、この事業についての利用契約を交わした人
- ・**支出額：1,293,343円**

2) 他団体と連携してとりくむ活動

- 従来どおり川崎市教職員組合障害児教育部および神奈川県立障害児学校教職員組合、川崎障害児者問題研究会とともに共同のとりくみをすすめました。
- 支援を必要とする人たちのニーズに応えられるよう、他の事業者等関係者、行政担当者と積極的に話し合いをもち、諸制度の改善に努めました。参加するネットワークは次のとおりです。
 - ◇川崎市障害福祉施設事業協会（障施協）
 - ◇中原区障害者自立支援協議会（月1回）川崎市障害者自立支援協議会（年1回参加）
 - ◇麻生区障害者自立支援協議会（月1回）
 - ◇中原区総合子どもネットワーク会議（年間3回）
 - ◇中原区子どもの発達支援事業検討会（年間2回）
 - ◇川崎市NPO法人連絡会（2009年7月に発足、月1回の定例会は夜間開催、参加できていません。）
- 豊かな地域療育を考える連絡会や放課後連などの当法人の実施事業内容に直接関わりのあるネットワークを大切に、月1回の定例会には可能なかぎり主体的に参加、児童期の放課後・休日支援や、移動支援などの地域生活を支える制度の充実を求めて活動してきました。
 - ◇夏休みを楽しくすごす会（8/5・6・7・8 市立中央支援学校で実施）
 - ◇かわさき子ども権利の日事業 フォーラム（11月23日 市立中央支援学校で実施）
 - ◇第40回障害児者問題研究集会 フォーラム（3月8日に 市立中央支援学校で実施予定でした）

が、国のイベント自粛要請、学校の臨時休校を受けて延期となりました。)